

取引先の商品を 電子カタログに



大垣西濃信用金庫と遠州信用金庫の取引先の商品をまとめたカタログ＝大垣市恵比寿町、大垣西濃信用金庫本店

大垣西濃信用金庫と遠州信用金庫（静岡県浜松市）は、取引先を支援する目的で、それぞれの取引先の商品をまとめた電子カタログを作成して配布し合い、互いの職員に購入を持ち掛ける取り組みを始めた。

新型コロナウイルスの感染拡大で売り上げ低迷に苦慮する取引先を支援するとともに、互いの地域産品をお互いのエリアで広める。大垣西濃が他信金と同様の

大垣西濃信金、遠州信金と作成

みそせんべいや餃子 職員相互購入で支援

取り組みをするのは初めて。両信金は包括的連携協定を結んでおり、その一環の取り組みとなる。

カタログに記載したのは、大垣西濃が14事業者14商品、遠州が18事業者18商品。大垣西濃は地酒やみそせんべいなど、遠州は「浜松餃子」やウナギのかば焼きなどを掲載した。

大垣西濃の電子カタログは、データを添付してメールで送られる。3月末時点の職員数は、大垣西濃が494人で、遠州が303人。

今回は9月6日までだが、希望する取引先がほかにもあることから今後も反響を見て行う方針。

（鈴木隆宏）